

瀬戸内 女木島

瀬戸内に浮かぶ小島「鬼ヶ島」と呼ばれる女木島は、冬に吹きつける潮の飛沫まじりの烈風を防ぐために築かれたオーテという防風牆で、海辺に沿って集落全体を囲い、村を形づけている。

高さ3~4m、厚さ1mほどの石垣の間を細い道が走るこの景観は、瀬戸内海ではこの島以外では見られない特徴的なもので、目をひかれた。

■特集予告

- 1月号/新しい都市空間づくり-1
- 2月号/インテリア・プレジャー 日建設計特集
- 3月号/東海支部復活30周年記念

- 会長 佐野正一
副会長 金多 深・葉袋公明
市川 宏・鴻池藤一
- 編集委員会(平成2年度)
- 編集理事
井上 豊
金井 弘次
小島 雄
城 憲一
須賀 好富
竹中 鎌一
深江 実
松村 慶三
溝神宏至朗
若山 繁
- 編集委員長
溝神宏至朗
- 編集顧問
東 孝光
- 編集委員
★計画系分科会
☆計画系
梅村 宏尚
河端 秀直
小浦 久子
※鈴木 克彦
○田中 直人
中井 省吾
松川 敏正
山尾 弘子
横関 真紀
吉村 英祐
☆建築計画系
石山 道男
○上杉 秀隆
江副 敏史
北村 潤
※佐藤不二男
塚本 史郎
刃金 国男
三沢 真理
森田 晴美
矢野 裕芳
山中 恵子
山本 匡
☆インテリア系
石倉 健彦
大森 智子
大橋真由美
○加藤 力
神谷 剛
※北浦かはる
駒田 哲男
西川 純一
福田 由利
増地 秀夫
★構造分科会
和泉 一義
稲葉 繁夫
角 彰
多賀 謙藏
馬場 研介
○山崎 雅生
- ★設備分科会
安倍 浩一
池田 秀行
○遠藤 進
梶井 宏修
河津 隆之
伊達 正雄
★工務分科会
○有光 利治
植田 実隆
河戸 隆
志水 史典
松村 衛
村上 信直
★法令分科会
佐藤 勝
○島田 裕至
高橋 博之
寺田 泰信
松井 昭
※作品委員会
荒川 朱美
遠藤 公介
尾崎 久純
岡本 隆
※北澤 修一
玉崎 良和
富田 昌義
福地 一彦
前川 治彦
○宮下 善弘
水川 幹雄
宮崎ひろ志 尚彦
※役員委員会
伊藤 郁郎
稲本 裕子
上禁 京子
尾崎 俊文
大沢 智弘
北村 恭一
小林 孝一
※佐伯由紀子 厚
柴田 柴田
○高田 光雄
※高橋 麗子
塚口 明洋
増潮 昌利
山崎 章子
※広告企画委員会
池澤 俊男
佐野 寛志
○下村 甫
橋本龍二郎
原田 常介
藤田 孝吉
山下 修司
○渡辺 志
- 印 副委員長と幹事 ※印 同代行

12 通巻 825

作品作風

Gallery
スケッチブック
INFORMATION

書評

新建材紹介コーナー
GBRCニュース
法令コーナー
建築の眼

特集
総論

各論 I

各論 II

グラビア

構造の頁187

設備の頁189

アメリカからの報告(9)
INFORMATION

月報

追悼文

総目次

1917創刊
1990
71集

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY

CONTENTS

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

特集●高級感—建物の顔：感性の時代を迎えての外装材—

SPECIAL FEATURES ON HIGH-QUALITY AND LUXURY —CLADDING OF BUILDINGS— NEW WAVE FOR CLADDING MATERIALS IN THE SENSITIVE TIMES.

四天王寺国際仏教大学 1号館・2号館 ————— 設計監理：大林組 — 2
施工：金剛組

名古屋商科大学コミュニティーセンター ————— 設計施工：竹中工務店 — 6

樹下の家／吉羽裕子 ————— 10

最近竣工した新建築9点(No.2303~No.2311) ————— 12

フランク・ロイド・ライト回顧展、来年1月からセゾン美術館で開催。関西学研都市の文化学術研究交流施設の「モニュメントを含む広場」国際設計競技、「A+E FORUM」開催。200V電化機器、市場に登場 ————— 13

第10回大阪まちなみ賞、第6回神戸市建築文化賞 ————— 14

建築意匠の新らたなる理論的考察の書／太田隆信 ————— 16

ブックステーション／大沢智弘・山崎章子 ————— 17

ペリアパネル(型枠兼用断熱パネル)／竹田三夫 ————— 19

試験所の受託試験業務について ————— 20

神戸市集合住宅駐車場整備基準の制定と実施／増田 繁 ————— 21

ミラノ大聖堂／加藤邦男、「エコロジカル都市」宣言／馬場宏史。建設の時代／黒田公三。車と社会—その6／山根千鶴子 ————— 22

高級感—建物の顔：感性の時代を迎えての外装材—

建築用素材の変遷 ————— 山田幸一 — 24

外壁仕上げ材料の現状と将来 ————— 長橋英彦 — 26

素材の現状と動向

石 ————— 池野忠勝 — 30

タイル ————— 辻 孝二郎 — 32

セラミックス ————— 加藤秀夫 — 34

ガラス ————— 池内清治 — 36

素材の紹介

薄物天然石 ————— 折戸嗣夫 — 38

より石に近く ————— 山下勝利 — 39

土の感触 ————— 古谷博史 — 40

金属調タイル ————— 神吉 肇 — 41

結晶化ガラス建材 ————— 加藤秀夫 — 42

大型セラミック建材 ————— 原 健一 — 43

ガラス質発泡セラミック建材 ————— 伊藤哲郎 — 44

高性能熱線反射ガラス ————— 長橋健一 — 45

視野選択ガラス ————— 松延 晋 — 46

銅 ————— 古川 進 — 47

アルミ合金鋳物 ————— 佐藤秀信 — 48

チタン ————— 芦原幸一 — 49

実施例 ————— 50

X形配筋—(仮)MKOマンションの設計と施工—／八木貞樹 ————— 57

最近の火災報知設備—2—熱放射式走査型火災感知器／古川敏雄 ————— 58

反復と静謐 R・ピアノとメニル・コレクション／薄田 学 ————— 60

住宅・建築省エネルギーフォーラム開催。'90 ショーウィンドコンクール大阪 ————— 60

平成2年10月分 ————— 63

奥村重兵衛氏を悼む／大森正男 ————— 64

「建築と社会」1990年1~12月号総目録 ————— 65

印刷 平成2年12月20日
発行 平成2年12月25日
発行人 社団法人日本建築協会
発行所 社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-3-2100
電 06-348-0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所 日本写植印刷株式会社
電 06-606-1111(代)
青葉印刷株式会社
電 06-351-5428(代)

定 価 980円(本体価格951円+送料共
消費税29円)